

日韓学術文化交流事業訪韓団（第1～2団）派遣事業の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】日本全国から選抜された教育関係者等 65 名が、8 月 20 日～26 日まで、今後の日韓間の相互理解と信頼関係増進の基盤強化に寄与することを主目的として訪韓しました。一行はソウル特別市、京畿道城南市・富川市・水原市・坡州市を訪問し、教育現場をはじめとする各種視察、関連講義聴講、関係者との懇談等を通じて、韓国に対する理解を深めるとともに、日本の魅力やプログラム中の学び等について SNS 等で発信しました。

【参加者】日本の教育関係者等 合計 65 名

【訪問地】訪韓（ソウル特別市 65 名、京畿道城南市・坡州市 65 名、（第 1 団）京畿道富川市 35 名、（第 2 団）京畿道水原市 30 名）

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習事）：

7 月 20 日（土） オリエンテーション（プログラム説明）

【交流】日韓学術文化交流事業訪日団参加者とのオンライン意見交換会

■ 派遣プログラム：

8 月 20 日（水） 仁川国際空港から入国、オリエンテーション

8 月 21 日（木） （第 1 団）【学校訪問・交流】富川東初等学校（模擬授業、給食体験含む）

（第 2 団）【学校訪問・交流】水原工業高等学校（模擬授業、給食体験含む）

歓迎式、【講義聴講】韓国教育部「韓国の教育課程」

8 月 22 日（金） 【学校訪問・交流】ソウルヘヌリ初中等学校（模擬授業、給食体験含む）

【交流】ホームステイ対面式

8 月 23 日（土） ホームステイ、【視察】明洞

8 月 24 日（日） 【視察】坡州非武装地帯（DMZ）、現代モータースタジオ高陽、南山タワー

8 月 25 日（月） 【視察】韓国国立中央博物館、【講義・文化体験】「ハングルカリグラフィーへの理解」、成果報告会

8 月 26 日（火） 仁川国際空港から出国

2. 記録写真

	
8月21日【学校訪問・交流】富川東初等学校 (日本の教員による模擬授業の様子)	8月21日【学校訪問・交流】水原工業高等学校 (施設見学の様子)
	
8月21日【講義聴講】韓国教育部「韓国の教育課程」	8月22日【学校訪問・交流】ソウルヘヌリ初中 等学校 (日本の教員による模擬授業の様子)
	
8月23日【交流】ホームステイ (本年6月実施の 訪日団に参加した韓国の教員との交流の様子)	8月24日【視察】坡州非武装地帯 (DMZ)
	
8月25日【視察】韓国国立中央博物館	8月25日【講義・文化体験】「ハングルカリグラ フィーへの理解」

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 日本 教員

学校訪問やホームステイ先の教員との交流等を通じて、韓国の教育現場について実際に体験しながら知ることができました。日本の教育について考えるきっかけにもなりました。

◆ 日本 教員

学校訪問時に模擬授業ができたことは、私の教員生活の中でも貴重な経験になりました。国を超えて、児童たちは色や形の捉え方、考え方を他者と共有する面白さを感じている様子が見られました。

◆ 日本 教員

ホームステイ体験と韓国の先生方との交流の時間が特に印象に残りました。ニュースで見聞きしていたことを実際に体験することで、教育や文化についてよりリアルに学ぶことができました。改めて、様々な経験を積むことの大切さを実感し、今後は子どもたちにも多様な場に足を運び、学びを深めてほしいと感じました。また、韓国の先生方と直接お話しできたことは非常に貴重な機会であり、今後も継続的な交流を続け、個人だけではなく学校同士のつながりにも発展していければと願っています。

◆ 日本 教員

学校訪問では、実習や授業の見学、生徒との交流、日本の先生による模擬授業、韓国の教員との意見交換等を通じて、現場の生の声を直接伺うことができ、大変貴重な機会となりました。

また、ホームステイでは観光では知り得ない韓国の方々の生活に触れることができ、温かいホストファミリーのおもてなしによって、思い出に残るひとときを過ごすことができました。特に、学校訪問では現場の先生方の声を、ホームステイでは子どもを育てている保護者の声を伺えたことが、今後の教育活動を考えるうえで大きな学びとなりました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 富川東初等学校

日韓国交正常化 60 周年の今年、日本の教員の本校訪問を通じて、日韓両国の教員による教育に対する理解と関心がより一層高まったと感じています。隣国、日本から本校に教員が訪問するという便りを聞き、本校の児童たちは 1 か月前から期待に胸を膨らませ、歓迎式や教室環境、授業について、真心を尽くして準備しました。日本の教員たちが本校のデジタル教授学習施設について、多くの称賛と関心を示してくださいましたが、日本にも「GIGA スクール構想」があると聞きました。今後、日本の教員たちと共に、未来教育やデジタル教授学習に関する持続的な交流を図り、互いにさらなる発展があることを期待しています。

◆ 水原工業高等学校

日本から来られた先生方は皆、若く有能な方々でした。普段と変わらない教育現場かもしれませんが、子どもたちの表情一つ一つを観察し、日常とは異なる工業系高等学校での授業を注意深く見学されていました。実習形式の授業は教室とは異なる雰囲気だったため、様々な質問が交わされました。まさにプロ

フェッショナルな印象を強く受けました。過去には活発な交流の時代と葛藤の時代がありましたが、今こそ両国が友好の時代へと進むべき時だと考えます。未来を担う両国の教師たちが一堂に会した経験は次の世代に伝えられ、「交流」を基盤とする友好の時代に「教員」たちが貢献することを願います。

◆ ソウルヘヌリ初中等学校

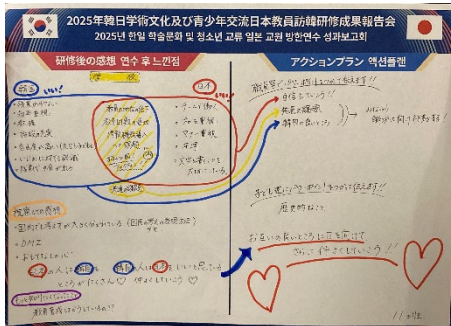
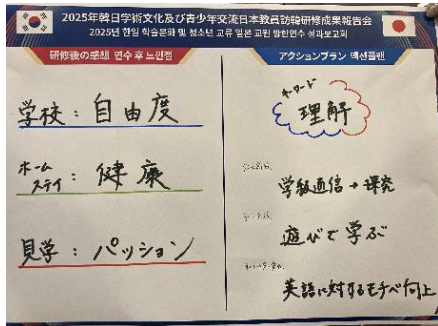
本校の生徒たちは事前に日本の様々な文化について調べたり、簡単な日本語の挨拶等を練習したりしながら、日本の先生方を歓迎するために準備しました。訪問当日、日本の先生方は授業を熱心に見学したり、生徒たちの活動にも直接参加したりする等、韓国の学校に強い関心を示してくださいました。また、日本の先生方による模擬授業は本当に印象的でした。特に、日本の学校生活について写真と動画で準備してくださったおかげで、リアルな様子についてうかがい知ることができ、大変興味深かったです。本校教員との交流会も本行事に花を添えました。日本と韓国の教育課程、生徒たちの生活や教員の福祉制度等、様々なテーマについて意見を交換しながら、同じ教員として共感し、熱い対話を交わす時間を持ちました。海外の先生方と互いの国の教育制度について話した時間はとても新鮮で、興味深い経験でした。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

 韓国の給食初体験！ 韓国小学校の給食初体験しました。 辛い物の自分はとてもワクワク楽しみにしていました。 食器や料理から韓国の人達が大切にしていることを感じることができました。配膳は給食の調理員さんが全て盛り付けてくれます。主食、主菜、スープ全てワンプレートでした。 給食をテーマに日韓の食文化を比較する授業をできればと思います。	 2025.08.21 水原工業高等学校への訪問を行いました。授業の見学や、昼食体験、訪韓団の先生が数学と体育の授業を生徒に行いました。日本の学生たちとの違いを感じた瞬間でした。韓国では、制服や給食費等が高校でも無償ということでした。それであの量の給食を食べられるというのは、韓国は子供達への支援を積極的に行っている印象を受けました。 また、学校の設備がとても整っていて、ハイテクな機械などが多くあり、日本との差を感じました。見学した建築デザインの授業では、CADを使って実際にデザインを作成しており、就職に直結する学習ができるように感じました。
2025 年 8 月 21 日 (Instagram) 韓国の小学校の給食を体験しました。(中略) 食器や料理から、韓国の方々が何を大切にしているのかについて感じる事ができました。配膳は調理員の方が盛り付けてくださり、主食や主菜、スープ等、すべてワンプレートでした。給食をテーマに、日韓両国の食文化を比較する授業を行えたらと思いました。	2025 年 8 月 21 日 (Instagram) 高校を訪問し、授業の見学や昼食体験、訪韓団の教員が数学と体育の模擬授業を行いました。日本の生徒との違いを感じた瞬間でした。韓国では、制服や給食費が高校でも無償でした。(中略) 学校の設備が整っており、ハイテクな機械が多数ありました。見学した建築デザインの授業では、就職に直結する学習ができるように感じました。

水曜日から日韓学術文化交流事業訪韓団で渡韓して、きょうはソウルのヘヌリ中学校1年3組で授業を実施！伝言鑑賞ゲームは、国を越えて活動できた。 韓国の美術科事情についても直接先生たちとディスカッションできた。『造形実験』など、執筆したものを渡し、ヘヌリ中からも評価本をいただいたので、ババゴで訳しながら勉強します！！ 	I've been to South Korea as a member of teacher's exchange program. Through this program, I was able to understand the differences between Japan and Korea and find the advantages of each. In addition, I was able to get to know teachers from all over the country. This experience is a treasure in my life. I would like to thank all the teachers who were involved. 감사합니다 !! 또 만나요 🍀 
2025 年 8 月 22 日 (Facebook) 日韓学術文化交流事業訪韓団で韓国に滞在しています。今日はソウルヘヌリ中学校で美術の授業を実施。伝言ゲームは国を越えて活動できました。韓国の美術科の事情についても、直接韓国の先生たちと意見交換ができました。執筆した本を渡し、ヘヌリ中学校からも美術の評価本をいただいたので、翻訳アプリを利用して勉強したいと思います。	2025 年 8 月 26 日 (Facebook) 日韓学術文化交流事業訪韓団の団員として、韓国を訪問しました。本プログラムへの参加を通じて、日韓両国の違いを理解し、互いの良いところを発見することができました。また、日本全国から参加した教員の方々と知り合うことができました。この経験は私にとって人生の宝物です。

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（概要または抜粋を記載する）

	
【成果の発表】 ・海外の学校を視察したことで、日本の学校の良さを再認識することができました。ICTとノートを適材適所で使い分けている、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童に対する支援が手厚い、ユニバーサルデザインが進んでいるところが日本の良いところです。 ・言葉が伝わらなかったとしても、コミュニケーションを取ろうとする気持ちで通じ合えたことが楽しかったです。交流の良さを実感しました。	【成果の発表】 ・学校では「自由度」を感じました。生徒が教科書として紙を使うのかパソコンを使うのか、制服や教員の授業の仕方、授業中の飲食等、日本よりも自由度の高さを感じたことが印象的でした。 ・ホームステイではおもてなしを受けたり、「健康」に対する意識の高さを感じたりしました。食後に2時間散歩しましたが、健康志向が高く、多くの人が散歩やランニングをしていました。 ・各種視察では韓国の未来に対する「パッション」

・児童や保護者との関係、教員間の関係等、日本と韓国の教員は共通点も多く、共感し合い、理解し合えた点が良かったです。 ・DMZ を訪問して、朝鮮半島における南北関係の歴史や今現在の関係性について、肌で感じる事ができました。 【アクション・プラン】 ・韓国の学校とのオンライン交流や手紙を介した交流を通じて、平和の芽を育てることで、日韓友好の懸け橋になります。 ・自身のホームステイ経験を通じて、児童に対して何か新しいことに挑戦することの大切さを伝え、児童が自国の良さを認識し、自国を大切にする気持ちを育めるように教えていきます。 ・全校児童向けに日韓両国の共通点や相違点について掲示物を作成し、校内に掲示します。 ・学校訪問時に見聞きしたことや感じたことについて、同僚に共有します。 ・本プログラムの魅力を発信し、広報します。	を感じました。現代モータースタジオでは未来型自動車である水素自動車の開発、DMZ の見学では北朝鮮との統一に向けての強い思い、南山タワーではライトの色で市民に環境の状態を知らせ、環境への意識を高める等、国全体が未来に目を向けていると感じました。 【アクション・プラン】 ・訪日団に参加した韓国の教員が勤務する学校と、本年 10 月と来年 2 月に対面での相互交流を計画しています。 ・学級通信にて今回の経験を生徒に共有し、多文化理解を促します。 ・レポートを作成し、教職員へ配布します。 ・探究活動で交流につなげていきたいです。 ・海外に対しての意識の高さに幅があるため、遊び(ゲーム)を通して多くの生徒に海外について考える機会をもってもらいたいと思います。 ・オンライン交流から始めて、対面交流までつなげていきたいです。
--	--

実施団体名：公益財団法人日韓文化交流基金